

1. 講義

川西 徹, 「バイオ医薬品の品質保証」, 国立保健医療科学院平成18年度特別課程薬事衛生管理コース, (2006. 6)

四方田千佳子, 「固形剤の品質再評価」, 国立保健医療科学院平成18年度特別課程薬事衛生管理コース, (2006. 6)

香取典子, 「統計的評価法」, 国立保健医療科学院平成18年度特別課程薬事衛生管理コース (2006. 6)

吉岡澄江, 「医薬品の安定性」, 国立保健医療科学院平成18年度特別課程薬事衛生管理コース (2006. 6)

檜山行雄, 「医薬品の品質保証とGMP」, 国立保健医療科学院平成18年度特別課程薬事衛生管理コース (2006. 5)

檜山行雄, 「医薬品の規格設定」, 国立保健医療科学院平成18年度特別課程薬事衛生管理コース (2006. 6)

坂本知昭, 「品質試験検査概論」, 国立保健医療科学院平成18年度特別課程薬事衛生管理コース (2006. 5)

坂本知昭, 「分析法バリデーション」, 国立保健医療科学院平成18年度特別課程薬事衛生管理コース (2006. 6)

小出達夫, 「理化学試験機器概論」, 国立保健医療科学院平成18年度特別課程薬事衛生管理コース, (2006. 6)

檜山行雄, 「研究開発段階における, 医薬品品質確保の為の方策について」, 国際厚生事業団 (JICWELS) 第17回必須医薬品製造管理研修 (2006. 10)

合田幸広, 「漢方医学」名城大学薬学部 (2006. 12)

合田幸広, 「食薬区分と違法 (脱法) ドラッグ」, 北里大学大学院特別講義 (2006. 6)

佐藤陽治, 「薬効安全性学特論」, 東邦大学大学院 (2006. 6)

土屋 利江, 「医療機器の安全性」お茶の水女子大学化学・生物総合管理の再教育講座 (2006. 7)

土屋利江, 「医用材料・医療機器の安全性」バイオメディカルエンジニアリング神奈川技術アカデミー教育講座 (2006. 11)

土屋利江, 「医療用具の安全性」東京女子医科大学第38回バイオメディカルカリキュラム, 東京女子医科大学先端生命医学研究所 (2007. 3)

西村哲治, 「水質測定法」, 国立保健医療科学院平成18年度特別課程水道工学コース (2006. 10)

西村哲治, 平成18年度認定水道水質検査員研修会, 全国給水衛生検査協会 (2006. 9/2006. 10)

米谷民雄, 「基準値の設定と試験法について」, 食品衛生登録検査機関協会 平成18年度残留農薬・残留動物用医薬品研修会 (2007. 3)

佐々木久美子, 「残留農薬試験法について」, 食品衛生登録検査機関協会 平成18年度残留農薬・残留動物用医薬品研修会 (2007. 3)

村山三徳, 「残留動物用医薬品の分析法」, 食品衛生登録検査機関協会 平成18年度残留農薬・残留動物用医薬品研修会 (2007. 3)

佐々木久美子, 「食品中の残留農薬について」, お茶の水女子大学 平成18年度化学・生物総合管理の再教育講座 (2006. 6)

宮原 誠, 「照射食品の安全性」, お茶の水女子大学 平成18年度化学・生物総合管理の再教育講座 (2006. 6)

穂山 浩, 「遺伝子組換え食品について」, お茶の水女子大学 平成18年度化学・生物総合管理の再教育講座 (2006. 6)

佐々木久美子, 「食品中の残留農薬の規制と試験法」, 国立保健医療科学院 平成18年度特別過程食肉衛生検査コース (2006. 7)

村山三徳, 「残留動物用医薬品の理化学的検査法」, 国立保健医療科学院 平成18年度特別過程食肉衛生検査コース (2006. 6)

佐々木久美子, 「食品中の残留農薬に関する最近の話題」, 国立保健医療科学院 平成18年度特別課程食品衛生管理コース (2007. 1)

松田りえ子, 「食品中の汚染物の摂取量調査について」,

- 国立保健医療科学院平成18年度特別課程食品衛生管理コース (2007. 1)
- 穂山 浩, 「食物アレルギー及び遺伝子組換え食品」, 国立保健医療科学院平成18年度特別課程食品衛生管理コース, (2007. 2)
- 松田りえ子, 「試験法の妥当性の評価について」, 厚生労働省平成18年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会 (2006. 8)
- 村山三徳, 「残留動物用医薬品の分析法とバリデーションについて」, 厚生労働省平成18年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会 (2006. 8)
- 村山三徳, 「食品規格に関する検査法」, 千葉県北部家畜保健衛生所平成18年度畜産講習会 (2006. 7)
- 松田りえ子, 「試験法の妥当性の評価について」, 食品衛生登録検査機関協会信頼性確保部門責任者研修会 (2007. 2)
- 村山三徳, 「残留動物用医薬品の分析法とバリデーションについて」, 食品衛生登録検査機関協会 信頼性確保部門責任者研修会 (2007. 2)
- 穂山 浩, 「遺伝子組換え食品について」, 日本国際協力センター JICA特別研修コース (2007. 1)
- 棚元憲一, 食品添加物の規格作成, お茶の水女子大学化学・生物総合管理の再教育講座 (2006. 6)
- 佐藤恭子, 「食品添加物における最近の話題」, 国立保健医療科学院平成18年度特別課程食品衛生管理コース (2007. 1)
- 河村葉子, 化学・生物総合管理の再教育講座: 器具・容器包装, お茶の水女子大学 (2006. 6)
- 河村葉子, 「器具・容器包装における最近の話題」, 国立保健医療科学院平成18年度特別課程食品衛生管理コース (2007. 2)
- 高鳥浩介, 「真菌検査法」, 農林水産省消費・安全局家畜衛生講習会 (2006. 5)
- 高鳥浩介, 「真菌性ズーノーシス」, 帯広畜産大学獣医公衆衛生学 (2006. 6)
- 高鳥浩介, 「食肉と真菌」, 国立保健医療科学院平成18年度特別課程食肉衛生検査コース (2006. 7)
- 高鳥浩介, 「真菌症」, 帯広畜産大学伝染病学 (2006. 7)
- 高鳥浩介, 「食品衛生学」, 帯広畜産大学獣医公衆衛生学 II・獣医公衆衛生学実習 II (2006. 12)
- 小西良子, 「食品衛生をめぐるマイコトキシンの話題」, 国立保健医療科学院平成18年度特別課程食品衛生管理コース (2006. 1)
- 宮原美知子, 「食品細菌検査の問題点」, 国立保健医療科学院平成18年度特別課程食品衛生管理コース, (2006. 2)
- 小西良子, 「カビ毒のリスクアセスメント」, (独)国際協力機構兵庫国際センター, マイコトキシン検査技術 II コースに係るフォローアップセミナー (2006. 7)
- 工藤由起子, 「腸管出血性大腸菌食中毒における畜産食品の重要性と食品の新しい公定検査法の策定」, 農林水産平成18年度家畜衛生研修会 (病性鑑定) (2006. 10)
- 山本茂貴, 「食品の安全とHACCPシステム導入に関する現状」, 日本獣医畜産大学特別講義 (2006. 5)
- 山本茂貴, 「食品の微生物学的リスクアナリシス」, 国立保健医療科学院平成18年度特別課程食品衛生管理コース, (2007. 1)
- 春日文子, 「微生物学的リスクアセスメントの実際」, 国立保健医療科学院特別課程食肉衛生検査コース (2006. 6)
- 五十君静信, 「食肉の細菌制御」, 国立保健医療科学院平成18年度特別課程食肉衛生検査コース (2006. 6)
- 春日文子, 『食の安全ゼミナール II & V (演習)』疫学シミュレーション, 東京大学大学院アグリコクーン食の安全・安心フォーラムグループ講義 (2006. 8)
- 春日文子, 「食品衛生におけるリスクアセスメント」, 国立感染症研究所FETP初期導入コース (2006. 8)
- 春日文子, 「リスクアナリシスと地方食品衛生行政」, 国立保健医療科学院平成18年度特別課程食品衛生管理コース (2007. 1)

五十君静信,「食中毒菌の検査法」,国立保健医療科学院平成18年度特別課程食肉衛生検査コース(2006.7)

五十君静信,「乳肉製品の細菌制御」,国立保健医療科学院特別課程食品衛生管理コース(2007.1)

五十君静信,「遺伝子組換え食品の安全性の議論と乳酸菌における組換え研究紹介」,東京理科大学大学院講義(2006.10)

五十君静信,「カンピロバクターに関する最新の知見」,熊本県食中毒菌カンピロバクターに係る研修会(2007.2)

町井研士,「環境リスク学I」,平成18年度専門・専攻課程,選択科目,国立保健医療科学院(2006.9)

町井研士,「GLP」,平成18年度特別課程食品衛生監視指導コース,国立保健医療科学院(2006.10)

町井研士,「マリンバイオトキシン」,平成18年度,特別課程食品衛生管理コース,国立保健医療科学院(2007.1)

奥田晴宏,「承認審査と品質保証」,国立保健医療科学院(2006.5)

奥田晴宏,平成18年度特別課程薬事衛生コース,国立保健医療科学院(2006.6)

森川 馨,「医薬品情報」,国立保健医療科学院平成18年度特別課程薬事衛生コース(2006.6)

豊福 肇,「コーデックス委員会及び世界の動向」,国立保健医療科学院平成18年度特別課程食肉衛生検査コース(2006.6)

豊福 肇,「コーデックス及び世界の動向」,国立保健医療科学院平成18年度特別課程食品衛生管理コース(2007.1)

豊福 肇,「食品流通安全管理論Ⅲ」,東京海洋大学(2006.7)

豊福 肇,「平成18年度コーデックス委員会活動報告」,(社)日本食品衛生協会(2007.3)

畝山智香子,「毒性情報の利用法」,国立保健医療科学院(2006.9)

森田 健,「化学物質の健康有害性に関するデータベースとその活用法」,お茶の水女子大学平成18年度化学・生物総合管理の再教育講座(2006.7)

林 譲,「自然と社会における異常事態の検出のためのアルゴリズム」,東京理科大学大学院経営工学特別演習(2006.7)

林 譲,「FUMI理論による不確かさの推定」,(社)日本環境測定分析協会極微量物質研究会・セミナー(2007.2)

菅野 純,第104回発生研・拠点形成Aセミナー,熊本大学(2006.6)

西川秋佳,「食品添加物の安全性試験結果」,お茶の水女子大学・化学・生物総合管理の再教育講座(2006.7)

山田雅巳,「変異原性試験を用いた突然変異のメカニズムの研究」,東京薬科大学大学院 特別講義(2006.5)

本間正充,「DNAの2本鎖切断修復と遺伝的不安定性」,大阪府立大学大学院生命環境科学科特別講義(2006.7)

広瀬 明彦,平成18年度「化学・生物総合管理の再教育講座」,お茶の水女子大学(2006.5)

江馬 眞,平成18年度「化学・生物総合管理の再教育講座」,お茶の水女子大学(2006.10)

2. 講演

川西 徹,「品質保証のあり方について」,富山県GMP研究会特別講演(2006.9)

四方田千佳子,「経口固形剤の品質をめぐる諸問題」,日本公定書協会研修会(2006.10)

四方田千佳子,「分析法バリデーションについて」,静岡県生活科学検査センター第4回医薬品・化粧品等品質管理研修会(2006.11)

四方田千佳子,「医薬品製剤の品質規格とその将来」,創剤フォーラム第21回シンポジウム(2006.11)

檜山行雄,「医薬品の品質保証に係わる最新の動向について」,富山県GMP研究会特別講演(2006.9)

檜山行雄,「改正薬事法とGMPの国際調和」,日中製剤と

- 粒子設計交流会, 中国, 瀋陽 (2006. 5)
- 檜山行雄, 『ICH Q9ガイドラインについて』 医薬品医療機器総合機構教育セミナー, 東京 (2006. 8)
- 檜山行雄, 『ICH Q9 overview』 PDAアジア太平洋会議, 東京 (2006. 11)
- 檜山行雄, 『ICHQ8Q9導入に関わる課題』 ISPE/PDA共同ワークショップ, 米国 ワシントン (2006. 12)
- 坂本知昭, 「医薬品・医薬部外品GMP試験検査室管理指針について」, 第17回山口GMP研究会特別講演, (2007. 2)
- 山口照英, 遺伝子治療用ベクターの安全性に関する最近の動向, ICH 専門家会議, (2006, 7)
- 山口照英, 遺伝子治療薬や細胞治療薬 (再生医療) の品質・安全性・有効性確保, 東京大学, (2007, 3)
- 山口照英, 再生医療と国内外の規制-細胞組織利用医薬品等の特性解析及び安全性確保, 再生医療とウイルス安全性フォーラム, (2006, 6)
- 山口照英, 遺伝子治療薬や細胞治療薬の品質・安全性・有効性確保に関する動向, 第43回全国衛生化学技術協議会年会, (2006, 11)
- 山口照英, バイオ医薬品の品質・安全性・有効性確保, 東京理科大学, (2006, 12)
- 山口照英, 2006シカゴ会議報告, ICH遺伝子治療専門家会議, (2006, 12)
- 合田幸広, 「第十五改正日本薬局方生薬総則・医薬品各条 (生薬) について」, 公定書協会研修会 (東京・大阪) (2006. 5)
- 合田幸広, 「健康食品や生薬の基原について」, 静岡県環境衛生科学研究所特別講演 (2006, 12)
- 合田幸広, 「食薬区分と違法 (脱法) ドラッグ」, 漢方薬・生薬認定薬剤師研修会 (2006. 12)
- 合田幸広, 「天然物の基原と品質保証」, 日本大衆薬工業協会生薬製品委員会定期総会 (2007. 3)
- 川原信夫, 「最近の生薬行政の動き」, 第18回生薬漢方製剤の微生物および異物汚染対策ならびに品質管理に関するシンポジウム (2006. 12)
- Yukihiro Goda, “Topics on Herbal Medicines from 2005 to 2006 in Japan”, The 4th Standing Committee Meeting of the Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicines (2006. 11)
- 合田幸広, 「遺伝子情報を利用した生薬試験法とその背景」, 大阪生薬協会技術部会講演会 (2007. 4)
- Nobuo Kawahara, : 「Comparative Studies on Pharmacopoeial Definitions, Requirements and Information for Crude Drugs among FHH Member Countries in 2006」, The sub-committee I meeting of the Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicine (FHH), (2006. 11)
- Ruri Kikura-Hanajiri : 「Drug Control in Japan」, National Bureau of Controlled Drugs, Department of Health, Taipei, Taiwan (2006. 9)
- Ruri Kikura-Hanajiri : 「Countermeasures against Drug of Abuse –Designated Psychotropic Substances–」 Regulatory Science Conference on Toxicological Evaluation of Potential High Risk Materials, Tokyo (2006. 11)
- 鈴木孝昌, 「TaqMan® Low Density Arrayを用いた遺伝子傷害性肝発癌物質の検出」, リアルタイムPCRユーザーミーティング (アプライドバイオシステムズジャパン) (2006. 10-11)
- 鹿庭正昭, 「家庭用品に使用される化学物質による健康被害と安全対策」, 財団法人ふくい産業支援センターふくい未来技術創造ネットワーク推進事業「バイオテクノロジー研究会」(2007. 1)
- 五十嵐良明, 「家庭用品規正法における有害物質の選定について」, 財団法人ふくい産業支援センターふくい未来技術創造ネットワーク推進事業「バイオテクノロジー研究会」(2007. 1)
- 西村哲治, 第20回公衆衛生情報研究協議会総会, 第20回公衆衛生情報研究協議会 (2007. 2)
- 西村哲治, 「技術懇話会」, 東京都健康安全研究センター (2007. 2)

- 米谷民雄,「農薬等のポジティブリスト制と試験法の概略」,(社)日本分析化学会関東支部 第47回機器分析講習会(2006. 7)
- 米谷民雄,「食品のリスク分析 -食の安全を担保するシステムと研究現場からの意見-」,中部大学・(社)日本食品衛生学会共催公開講演会(2006. 10)
- 佐々木久美子,「食品中の残留する農薬等の基準に係るポジティブリスト制度説明会(試験法部分)」,厚生労働省医薬食品局食品安全部 食品中の残留する農薬等の基準に係るポジティブリスト制度説明会(2006. 4)
- 佐々木久美子,「残留農薬の試験法について」,厚生労働省医薬食品局食品安全部 平成18年度食品安全行政講習会(2006. 5)
- 村山三徳,「残留動物用医薬品の検査法」,厚生労働省医薬食品局食品安全部 平成18年度食品安全行政講習会(2006. 5)
- 村山三徳,「畜水産食品中の残留動物用医薬品の分析法について」,全国食肉衛生検査所協議会 第24回全国食肉衛生検査所協議会理化学部会研修会(2006. 10)
- 宮原 誠,「食品安全への取組み」,食品の安全・安全確保推進研究推進事業シンポジウム(2007. 2/2007. 3)
- 村山三徳,「ポジティブリスト制度とその試験法について」,農林水産省動物医薬品検査所 品質確保検査に関する検討会(2006. 11)
- 佐々木久美子,「残留農薬等のポジティブリスト制度と公定試験法」,クロマトグラフィー科学会 第13回クロマトグラフィーシンポジウム(2006. 6)
- 佐々木久美子,「ポジティブリスト制度導入に伴う残留農薬分析法」,日本農薬学会 残留農薬分析セミナー(2006. 8)
- 佐々木久美子,「残留農薬の規制と試験法について」,食品衛生登録検査機関協会 平成18年度特殊技術研修会(2006. 10)
- 村山三徳,「残留動物用医薬品の試験法について」,食品衛生登録検査機関協会 平成18年度特殊技術研修会(2006. 10)
- 佐々木久美子,「農産品及家畜水産食品中の残留農薬検査法」,残留農薬等に係るポジティブリスト制度中国技術研修(2006. 11)
- 村山三徳,「家畜水産食品中の残留動物用医薬品検査法」,残留農薬等に係るポジティブリスト制度中国技術研修(2006. 11)
- 村山三徳,「畜水産物中の残留動物用医薬品等の試験法」,厚生労働省平成18年度食肉衛生技術研修会・衛生発表会(2007. 1)
- 穂山 浩,「遺伝子組換え食品について」,山形県立鶴岡南高等学校特別講演(2006. 11)
- 穂山 浩,「遺伝子組換え食品の検知法について」,昭和大学薬学部大学院特別講演(2006. 12)
- 渡邊敬浩,「バイオテクノロジーと社会をつなぐ」,筑波大学第二学群生物学類開設総合科目特別講演(2006. 6)
- 五十君静信,「食品媒介感染症としてのリステリア症の現状」,ILSI Japan食品汚染微生物シンポジウム(2006. 12)
- 棚元憲一,「食品添加物公定書のポイント」,日本食品工業倶楽部 食品の品質懇話会(2006. 4)
- 棚元憲一,「一般試験法(生物試験法)について」,第15改正日本薬局方について,日本公定書協会(2006. 5)
- 棚元憲一,「品質保証のあり方について」,富山県GMPセミナー(2006. 9)
- 棚元憲一,「食品添加物の安全確保」,食品に関するリスクコミュニケーション,神戸市教育会館(2007. 1)
- 山崎 壮,「食品添加物の公定書第8版刊行に残された課題」,ifia/HFE OSAKA2006 日本食品化学学会・食品化学新聞社合同シンポジウム「食品添加物の安全・安心」(2006. 11)
- 河村葉子,「第67回JECFA会議報告」,日本食品添加物協会講演会(2006. 8)
- 河村葉子,「食品衛生法規格基準改正と今後の動向」,(社)日本包装技術協会第161回生活者包装研究会(2006. 9)

河村葉子, 「器具・容器包装の規格基準改正とその試験法について」, 食品衛生登録検査機関協会平成18年度器具・容器包装研修会 (2006. 11)

河村葉子, 「食品衛生法における陶磁器等の規格基準について」, 岐阜県セラミック研究所先端科学技術講演会 (2006. 11)

山本茂貴, 「危害分析」, 第19回HACCP専門講師養成講習会HACCP連絡協議会 (2006. 7)

山本茂貴, 「Control of Food poisoning in Japan」, 平成18年度開発途上国食品衛生行政官研修, (社) 日本食品衛生協会 (2006. 9)

山本茂貴, 「食肉の安全とBSE, 鳥インフルエンザ」シンポジウム, 岐阜大学大学院 (2007. 3)

山本茂貴, 「危害分析」, 第20回HACCP専門講師養成講習会HACCP連絡協議会 (2007. 2)

山本茂貴, 「カンピロバクター食中毒の制御」, 平成18年度食鳥検査関係技術講習会東京都保健福祉局 (2007. 2)

五十君静信, 「食品からのカンピロバクター標準検査法」, 衛生微生物技術協議会 (2006. 6)

五十君静信, 「カンピロバクターと食中毒について」 東京都芝浦食肉衛生検査所衛生講習会 (2006. 8)

五十君静信, 「遺伝子組換えと食品」, 相模原市市民大学 (2006. 9)

五十君静信, 「食肉の衛生検査について」, 松阪市食肉衛生検査所研修会 (2006. 11)

五十君静信, 「鶏卵加工食品における耐熱性細菌の制御を考える」, 全国鶏卵加工協議会 (2006. 11)

五十君静信, 「乳製品の微生物コントロールについて」, 日本国際酪農連盟微生物・衛生専門部会 (2006. 12)

五十君静信, 「カンピロバクターに関する最新の知見について」, 全国食肉衛生検査所協議会 (2007. 1)

春日文子, 「微生物学的リスクアセスメントについて」, 厚生労働省食品安全行政講習会 (2006. 5)

春日文子, 「下痢症サーベイランスとリスク推定の試み」, 東北食中毒研究会第19回東北食中毒研究会全体会議・研修会 (2006. 8)

春日文子, 「集団給食施設における食中毒対策とノロウイルスのリスクアセスメント」, ウイルス性下痢症研究会第18回研究会 (学術集会) (2006. 11)

春日文子, 「日本における微生物のリスク評価」, 内閣府食品安全委員会食品に関するリスクコミュニケーション (東京) 「米国における微生物のリスク評価」 (2007. 3)

春日文子, 「生活科学特に食物学に期待すること」, 日本学術会議公開シンポジウム「生活科学その独自性と課題」 (2007. 3)

町井研士, 「品質管理部門の役割と試験検査の信頼性確保について」 総合衛生管理製造過程のための試験検査業務管理研修会基調講演, 関東信越厚生局 (2007. 2)

五十君静信, 「食肉の細菌制御」, 沖縄県中央食肉衛生検査所食肉衛生技術研修会 (2007. 2)

五十君静信, 「食品の微生物制御について」, 山梨県公衆衛生獣医師協議会公衆衛生獣医師協議会研修会 (2007. 2)

五十君静信, 「最近のリステリア研究の進展に関して」, ILSI Japan微生物部会セミナー (2006. 8)

高鳥浩介, 「食中毒の予防について」, (社) 日本食品衛生協会食品の安全・安全確保推進研究推進事業シンポジウム「食品安全への取組み」 (2007. 3)

小西良子, 「食品のカビとカビ毒のリスクについて」, 東京都保健福祉局平成18年度第4回食品技術講習会, (2007. 2)

小西良子, 「マイコトキシンのヒトおよび家畜に対する毒性」, (社) 日本獣医師会平成18年度日本獣医師学会年次大会 (さいたま) の特別企画 (特別講演会, 教育講演, シンポジウム等) (2007. 2)

小西良子, 「食品のカビとカビ毒について」, 三重県健康福祉部三重県食品衛生監視員研修会 (2007. 3)

工藤由起子, 「食品からの腸管出血性大腸菌O157及びO26の検査法の背景について」, 平成18年度食品衛生登

録検査協会微生物研修会 (2007. 1)

小西良子, 「カビ毒のリスクファイルと直面する問題」
第6回食品リスク研究講演会 ILSI Japan 食品安全研究会
食品リスク研究部会 (2006. 9)

小西良子, 「カビ毒の正しい理解」 ILSI Japan シンポジ
ウム (2006. 12)

宮原美知子, 「高齢者施設の食中毒実態」, 防菌防黴学会
女性研究者の会第1回学術講演会 (2006. 10)

宮原美知子, 「平成10年度より開始された厚生労働省「食
品中の食中毒菌汚染実態調査」の平成18年度までの経緯
について」, 食の安全を確保するための微生物検査協議
会記念講演会 (2006. 12)

工藤由起子, 「食品からの腸管出血性大腸菌の検出法に
ついて最近の話題」, 第4回食の安全を確保するための微
生物検査協議会 記念講演会 (2006. 12)

工藤由起子, 「腸管出血性大腸菌の最近の傾向と新しい
検査法について」, 厚生労働省平成18年度食肉衛生技術
研修会 (2007. 1)

工藤由起子, 「食品からの腸管出血性大腸菌検出のため
の新しい公定法」, 平成18年度地域保健総合推進事業
地方衛生研究所と東海北陸ブロック微生物部門研修会
(2007. 1)

杉山圭一, 「新規なTLR4結合性ペプチドの敗血症治療薬
への応用」, 第20回バイオインターフェース (2006. 11)

杉山圭一, 「敗血症の現状および新規候補薬剤の特性に
ついて」, 第47回今堀フォーラム (2007. 1)

奥田晴宏, Regulation on Chiral Drug and Present State of
New Chiral Drug-Review in Japan, 韓国医薬品食品庁釜
山支所講演会 (2006. 6)

奥田晴宏, ICH/Q8ガイドラインについて, 医薬品医療
機器総合機構特別研修会 (2006. 8)

奥田晴宏, 第14回ICH即時報告会, (財) 日本公定書協
会 (2006. 7)

奥田晴宏, 第23回新薬審査部門定期説明会, (財) 日本

公定書協会 (2006. 9)

澤田純一, 「臨床研究とPharmacogenetics/Pharmacogenomics」
ICR臨床研究入門中級編, 国立がんセンター (2007. 3)

山本 都, 窪田邦宏, 登田美桜, 「食品の安全性に関す
る情報の収集」, (財) 食品産業センター新食品会例会
(2006. 11)

畝山智香子, 「食品中汚染物質の概要と情報について」,
神奈川県保健福祉部平成18年度食品衛生監視員研修 (専
門監視コース) (2007. 1)

畝山智香子, 「食にまつわるリスクについて」, 青果物
EDI協議会特別セミナー (2007. 2)

豊福 肇, 「食中毒-家庭及び生産加工過程における予防
のポイント」, 農林水産省消費・安全局第2回食品安全に
係る科学セミナー (2006. 6)

豊福 肇, 「生産段階におけるCodexの取組-食肉・卵・
乳製品・水産養殖について-」, (社) 日本食品衛生学会
第91回学術講演会シンポジウム (2006. 5)

井上 達, 「新トピックの提案 Review of ICH Safety
(non-clinical) Guidelines」, (財) 日本公定書協会第14回
ICH即時報告会 (2006. 7)

井上 達, 「GLPの考え方」, (財) 日本薬剤師研修センター
第12回GLP研修会 (2006. 9)

井上 達, 「医薬品におけるこれからの非臨床安全性評
価」, 日本製薬工業協会医薬品評価委員会第102回基礎研
究部会総会 (2007. 2)

菅野 純, 「Percellomeトキシコゲノミクス・プロジェ
クトの概要と基礎生物学への応用」, 第4回明治薬科大学
オープンカレッジ (2006. 8)

菅野 純, 「ナノテクノロジー商品化における安全性確
認の要諦」, 三井業際研究所ナノテクノロジー商品化調
査研究委員会 (2006. 9)

菅野 純, 「アガリクスを含む製品の安全性評価に関わ
る基礎的研究」, (社) 日本薬学会第4回食品安全フォー
ラム (2006. 12)

菅野 純, 「Percollome法による遺伝子発現解析研究(トキシコゲノミクス)とその基礎研究への適用性」, 東京大学分子細胞生物学研究所機能形成研究分野セミナー(2007. 3)

菅野 純, 「マイクロアレイや定量PCRから細胞当たりのmRNAコピー数を得るPercollome法の概略と生物研究への応用」, 九州大学医研セミナー(2006. 4)

菅野 純, 相崎健一, 五十嵐勝秀, 北嶋聡, 中津則之, 「創薬とトキシコゲノミクス」, 第10回がん分子標的治療研究会総会(2006. 6)

種村健太郎, 「社会的な生活環境による脳構造および情動・認知機能への影響」, 近畿大学21世紀COEセミナー(2006. 11)

山田雅巳: Ames試験菌株の取り扱い-最近の行政の動向について-, 日本環境変異原学会・微生物変異原性試験研究会 第36回定例会(2006. 7)

能美健彦: Y-ファミリーDNAポリメラーゼによる酸化損傷ヌクレオチドの取り込みと突然変異の誘発
ミニシンポジウム「核酸を中心としたケミカルバイオロジー」京都大学(2007. 3)

増村健一: gpt delta transgenic mouse for in vivo genotoxicity assays: molecular characterization of mutants induced by environmental mutagens
コロンビア大学 セミナー(2007. 5)

林 眞, 第14回ICH即時報告会, (財)日本公定書協会(2006. 12)

能美健彦, COEセミナー, 奈良先端科学技術大学院(2006. 11)

江馬 眞, 化学物質リスク研究推進事業シンポジウム「家庭用化学製品の安心・安全に向けた取り組み」, (社)日本食品衛生協会(2007. 1)

広瀬明彦, ポリオレフィン等衛生協議会セミナー「食品の容器包装・器具のリスク評価法に関する研究」, ポリオレフィン等衛生協議会(2006. 12)

江馬 眞, 官民連携既存化学物質安全性情報収集・発信プログラム(Japanチャレンジプログラム)テンプレート説明会(2006. 7)

江馬 眞, 第7回日本トキシコロジー学会生涯教育講習会(2006. 7)